

多様化する学習者への取り組みーベトナム編ー

● 趣旨

日本語学校を取り巻く社会が変化中、日本語を学ぶ学習者の目的、国籍なども多様化してきています。とりわけ、最近ではベトナム人留学生の増加が顕著になり、日本語学校関係者の間でも話題になることが多くなりました。そこで、本年度のこの分科会では「多様化する学習者への取り組み」の第一弾として、ベトナム編を実施することになりました。

留学生たちは最終的には、進学や就職を目指し、日本へ留学してくるわけですが、まず、最初の受け入れ先である日本語学校の役割や責任は非常に大きいと言えます。

この分科会において、ベトナム人留学生の受け入れ、生活指導、教育への取り組みなどをテーマに活発な情報交換、意見交換ができればと考えております。また、最終的には日本語学校間のネットワークを作り、今後、日本語学校1校ではできないプロジェクト等へのきっかけにしていきたいと考えております。

● セッション1

セッション1では、IEEF（国際教育交流フォーラム）理事長の堀江学氏にご講演いただきます。堀江氏はベトナムでの日本語教育、人材育成に多方面から関わり、多くの活動実績をお持ちです。まず、堀江氏にベトナムの現状、今後の展望などについてお話いただき、その上で、会場の皆さまとの情報交換、意見交換をしていきます。

《堀江 学氏 プロフィール》



一般財団法人 国際教育交流フォーラム（IEEF）理事長

東京生まれ。

1974～2011年 財団法人 日本国際教育協会／独立行政法人 日本学生支援機構で、留学生試験、留学情報センター、留学生事業部、近畿支部、日本語教育センター等の業務を担当。

NPO 法人 JAFSA（国際教育交流協議会）理事・事務局長、財団法人 東亜留學生育友会理事等を歴任。

2011年、一般財団法人 国際教育交流フォーラムを設立、理事長。一般社団法人 海外留学サービス機構 理事長。

2009～13年度 放送大学 非常勤講師。

2010～11年度 文科省「高等教育機関に進学・在籍する外国人学生の日本語教育に関する検討会議」委員。

季刊誌「日本語教育ジャーナル」（アルク）2012年「言語教育のパラダイムシフト」執筆者、等。
(一般財団法人 国際教育交流フォーラム ホームページより)

● セッション2

ここでは、日本語学校で勉強し、現在、それぞれの進路先で頑張っている元日本語学校生に登壇してもらいます。大学院、専門学校、就職と選んだ道は違いますが、日本語学校で学んだという共通の経歴をもとに、来日前に抱いていたイメージや日本語学習についてなど様々なことを本音で語ってもらいます。セッション1に引き続き、堀江氏にもご参加いただき、元留学生たちの生の声を聞くことで、よりベトナム人学生の理解を深め、対応のヒントが得られればと思います。

発表者3人をご紹介します。

1 チャン・トゥイ・ヴァン・アン (26歳/女性)

2011年7月～2013年3月 … 日本語学校

2013年4月～ … 就職 (日本語学校勤務・事務職)

2 ゴー・テュイ・ゴック (27才/女性)

2011年4月～2013年3月 … 日本語学校

2013年4月～ … 目白大学大学院 (言語文化)

3 レ・チャン・フン (29才/男性)

2011年10月～2013年3月 … 日本語学校

2013年4月～ … 中央情報専門学校 (情報システム)

皆様からのご質問も大歓迎です。

● セッション3

分科会最後のセッションでは、教育面からベトナム人学生への対応をご紹介します。非漢字圏の学習者に漢字を指導する際、そもそも私たち教師が漢字についてどれほど整理できているかを見直すことで、指導そのものの考え方が変わってくるかもしれません。限られた時間ではありますが、「なかなかうまくいかない」「難しい」から一歩進んだ、より前向きな教育を考えたいと思います。ともに、ベトナム人学生を受け入れ、彼らの将来に関わっていくチャンスを得ることができた教職員として、この分科会をきっかけに「横のつながり」へ発展していければいいですね！